

## 学位論文審査の結果の要旨

林田朋幸

研究は、大規模林業地帯における山林管理と地域組織の関連性について、社会経済構造に着目して考察したものである。その結果、大規模林業を技術面、経営面で支える山世話という社会層が、地域社会の内外をつなぐネットワークの結節点となって山林管理に重要な役割を果たしていることが明らかにされた。山世話の歴史的成立過程と存在形態を明らかにしたことは、集落組織と広域組織を結ぶ地域運営の担い手に関する議論に再考を迫るものである。また地域の内外に開かれた社会関係に基づく地域資源管理の現代的可能性についてもひとつの展望を示している。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。